

# 市民は子育てくらしが大変 充実した諸策の実現を！

## どの子どももみんな保育園に入れるように

なかなか保育園に入れなくて困っている、お母さんたちの切実な声があがっています。待機児童の解消には保育園の新設・増設が欠かせません。小田原市における待機児童の数は、今年度4月当初で33名。昨年度の同時点では22名、7月で65名、10月で90名、翌年1月で114名と驚くほど増えています。市長はマニフェストで待機児童ゼロを公約していますが、その方策は国が認める保育園の定員枠を超えて入所させるなど、大変不十分です。保育室は狭くなり子どもたちには負担となるばかりです。こうした問題点を指摘し、根本的な待機児童の解消にむけた、保育園の新設・増設を求めました。

ある、対象を小学校6年生まで引き上げ、利用者の多い学童保育所は二つに分けるよう求めました。

## 学童保育を小学6年生までに

学童保育（放課後児童クラブ）の利用者が急増しています。現在対象学年は小学校3年生までですが、保護者の希望が

はその点を理解してほしい」となどと弁解していますが、一番苦しいのは市民です。くらしも福祉も大変な今だからこそ自治体の一番の仕事である住民の福祉を守ることが問われています。

## 大增税で一番苦しいのは市民

住民税の大增税が市民のくらしを圧迫しています。日本共産党小田原市議団は高齢者や低所得者の方たちに対する、市独自の住民税の軽減対策を求めています。市は「国・県・市財政が苦しいので市民

はその点を理解してほしい」となどと弁解していますが、一番苦しいのは市民です。くらしも福祉も大変な今だからこそ自治体の一番の仕事である住民の福祉を守ることが問われています。

## 大切になってきている銭湯の役割

小田原市内の銭湯は2カ所になってしまいました。市民の公衆衛生向上などに大切な役割を果たしてきている施設です。

その役割を果たすべく施策の充実を求めました。補助制度を継続するなどと回答がありました。



議会活動報告紙  
日本共産党小田原市議団

日本共産党小田原市議団ホームページ  
<http://jcpodawara.kun.jp/>



城下町ホール

# 基本設計の見直しを！

### 市民への説明

### 不十分・広報にもミス

4月に市は城下町ホールについての市民説明会を7回行いましたが、「実に使いにくいホールだ」「もつと時間を延長して説明してほしい」など、参加者からたくさん出された意見・要望に対して、十分な説明があり

「広報おだわら別冊」の俳優阿藤快さんの記事は、阿藤さんの思いとは大きく異なりました。市民への説明も市民の要望にも応えておりません。

### 専門家の指摘

### 「使いにくいホール」

これまで市民会館で公演してきた、松竹大歌舞伎や劇団前進座、劇団四季などから小田原市は意見を聞いておりません。専門家は搬入口が3・5mと狭すぎ、舞台までの距離が40mもある

と指摘しています。舞台も市民会館より狭くなっています。左右非対称の客席やわん曲した壁面が一番問題です。

### 管理費も修繕費も

### 費用がかかる

これまで土地を含め、総事業費70億8000万円と言われています。建設費63億円に加えて、毎年の管理運営費2億5千万円、大規模修繕費は30年間で建設費と同じ位かかり、すべて市民の税金でまかなわれることとなります。

模修繕費は30年間で建設費と同じ位かかり、すべて市民の税金でまかなわれることとなります。

### 日本共産党市議団の考えは

### 「やはり見直しを」

専門家の声をしっかりと聞き、建設費用をおさえ、市民と合意して、これからの小田原の「芸術文化の中心施設」としての城下町ホールを建設すべきです。

芸術文化の中心施設」としての城下町ホールを建設すべきです。

## 6月小田原市議会で 日本共産党の3議員は 一般質問を行いました

以下の項目について行った一般質問について、紙面にてご報告いたします。

#### 原田としじ議員

お城通り地区再開発事業について 学童保育の拡充について

#### 田中りえ子議員

保育園の待機児童の解消について 住民税増税問題について 銭湯の役割について

#### 関野たかし議員

(仮称)城下町ホール建設について



田中りえ子議員 原田としじ議員 関野たかし議員

法律相談・市政・生活相談は下記へご連絡ください

	/Fax	住所
関野たかし	42 - 0316	曾我岸90
原田としじ	48 - 4931	南鴨宮2-24-14
田中りえ子	35 - 5389	扇町1-6-2
	(市議団控室は	33 - 1789)
Eメール(代表)	tanakarieko@nifty.com	

# 市民の大切な一等土地利用が 事業者 言いなりでは？

## ● 泡と消えた 8 千万円 基本設計はズタズタ

これまで委託してきた村井敬氏による基本設計が、ズタズタになる新たな提案がありました。優先交渉権者(株)アパソポレインが提案したことで、8千万円は泡と消えたわけです。

## ● 市の補助金も1.5倍

市の補助金5割増で 2億→3億7500万円に  
(国・県・市合計で10億→15億円に)

コンベンションホール等に補助金  
毎年2億円？

今回の新たな事業提案はお城側の駐車場事業と地下1階を増やし、床面積を1.56倍にしました。総事業費がこれまでの54億7千万円から89億円に増えることで、国・県・市からの補助金は1.5倍になります。また、コンベンションホール等への補助金2億円？も毎年税金で支払われます。

## ● 未同意者への説得を優先交渉権者が

再開発地区に土地や家屋を持ち、この事業に加わらない未同意者に対して、優先交渉権者の(株)アパソポレインが直接、同意するよう説得しています。

## ● 5年後不動産証券化でどうなる？

優先交渉権者は5年後証券化することも提案しています。この問題については様々な疑問が浮上し、大問題になっています

# 市議会も“おかしい”と指摘

7月25日開催された市議会建設経済常任委員会で、あたらしい事業計画の説明がありました。ほとんどの委員から「これまでの計画はどうなってしまったのか」「優先交渉権者の言い

なりにされていないか」など、きびしい指摘が続出しましたが、まともな回答はありませんでした。

## 市民への事業説明会 このまま進めてよいのか

市はこうした突然の重大な設計変更の提案内容を市民に説明するとして、事業説明会を8月に、市内3ヶ所での開催を強行することになりました。

(右日程参照)  
日本共産党小田原市議団は、事業の白紙撤回を求めています。

使用の図表は市議会委員会資料より抜粋

## 市民への事業計画説明会日程

再開発準備組合主催の事業説明会が

下記日程で開催されます。

日時	場所
8月7日(火) 19時から21時まで	市民会館
8月10日(金) 19時から21時まで	マロニエ
8月12日(日) 14時から16時まで	生涯学習センター けやき

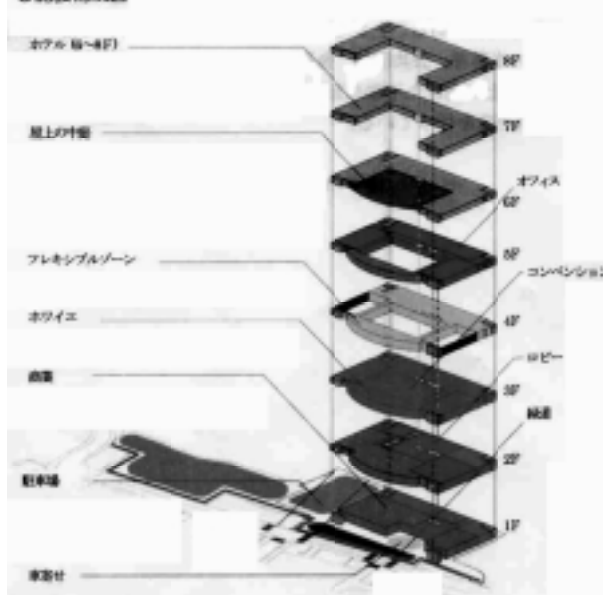
## 村井敬氏による これまでの基本設計

村井敬氏の基本設計による、床の用途別占有面積。床総面積は18,254㎡。これまで支払った設計費は8千万円でした。

施設建築物 地上8階 高さ約31m

用途	面積
ホテル	6,558㎡
コンベンション	3,701㎡
フレキシブルゾーン	1,690㎡
商業	3,338㎡
オフィス	2,967㎡
合計	18,254㎡

○施設構成図



## 新たに提案した 優先交渉権者の案

優先交渉権者(株)アパソポレインが新たに提案した、床の用途面積。床総面積は28,350㎡で、1.56倍に増え、用途も大幅に変更。地下1階と駐車場事業も加えました。

○施設概要

■施設規模  
建物高さ 31.0m  
階数 地上8階地下1階

■床面積 ㎡

施設種	用途	面積
施設種	ホテル	4,450
	コンベンション	1,850
	フィットネス	3,100
	サービス施設	10,000
	全体共用	4,350
	駐車場	4,600
小計		28,350
駐車場種	用途	面積
	駐車場・駐輪場	6,900
	小計	6,900
合計		35,250

○施設構成図

